夢と希望があふれるまち

とやまけん　あさひまち

富山県朝日町

こんにちは、たのしい未来！





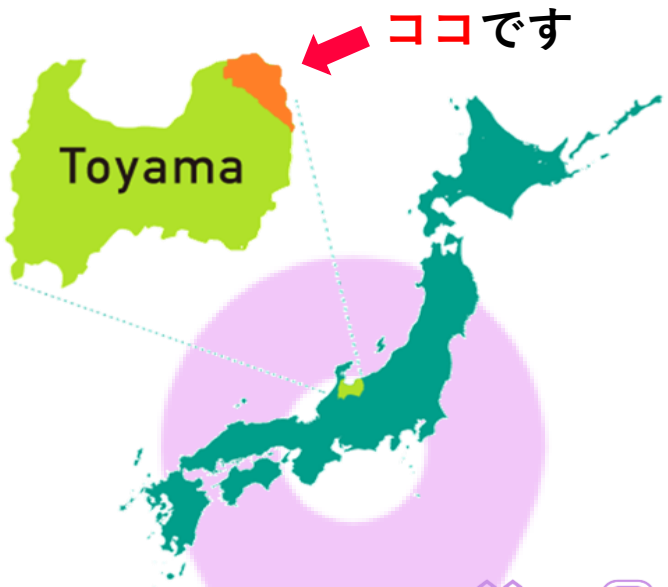


令和8年11月

朝日町ってこんなところ

～富山県の東端、新潟県との県境のまち～

海抜0メートルのヒスイ海岸から標高3,000メートル級の北アルプス朝日岳・白馬岳に至る、ダイナミックなパノラマが広がる自然に恵まれた町です。



DATA

面積	227.41㎢	
人口	9,825人	（R8.11.1現在）
世帯数	4,430世帯	（R8.11.1現在）

東京・大阪からの主な交通アクセス

《電車でお越しの場合》

◎東京駅 ― 北陸新幹線 → 黒部宇奈月温泉駅 ― あさひまち エクスプレス → 泊駅・越中宮崎駅（約3時間）

◎大阪駅 ― 特急 サンダーバード → 敦賀駅 ― 北陸 新幹線 → 黒部宇奈月温泉駅 ― あさひまち エクスプレス → 泊駅・越中宮崎駅（約3時間半）

《車でお越しの場合》

◎東京 ― 関越自動車道（長岡JCT）・北陸自動車道 → 朝日IC（約５時間）

◎大阪 ― 名神自動車道（米原JCT）・北陸自動車道 → 朝日IC（約５時間）

《飛行機でお越しの場合》

◎羽田空港 ― 空路 → 富山きときと空港 ― 連絡バス → 富山駅 ― あいの風とやま鉄道 → 泊駅（約2時間）

朝日町ってこんなところ

～美しい自然が織りなす風景がある街～



《舟川べり「春の四重奏」》
◎雪を抱く朝日岳・白馬岳の北アルプスを背景に、桜並木とチューリップ、菜の花が奏でる四重奏を楽しめます。



《ヒスイ海岸》
◎幅８０m・東西約４㎞に広がる砂利浜の海岸・「日本の　渚・百選」に選ばれ、翡翠の原石を拾うことができます。

《北又谷》
◎朝日岳・白馬岳の登山基地で、新緑、紅葉が美しい場所。紅葉の時期に「秘境の北又散策」を開催しています。



《不動堂遺跡（国指定史跡）》
◎縄文時代中期の遺跡で、国内最大級の竪穴式住居跡。タイプの異なる３棟の住居跡が復元整備されています。



朝日町ってこんなところ

～スポーツを楽しむ・食を楽しむ～

スポーツを楽しむ

《ビーチボール競技》発祥の地！

◎「いつでも　どこでも　だれでも」が
　気軽に取り組めるスポーツ。

町では７月と１０月に全国大会を開催しています。



《　大　会　》

７月
“翡翠カップ”ビーチボール全国大会
（令和７年度：１５９チーム、７６５名参加）

１０月
全国ビーチボール競技大会
（令和７年度：２４０チーム、１，１６９名参加）

食を楽しむ

《たら汁》朝日町の郷土料理

◎宮崎・境地区の旅館・民宿やドライブイン
などで味わうことができます。

「秘密のケンミンＳＨＯＷ」
で紹介されました。
たら汁街道　大人気！







第６次朝日町総合計画　令和８年度　～　令和１７年度

朝日町では持続可能なまちづくりを目指し、
令和８年度から「第６次朝日町総合計画　前期基本計画」がスタートしました。

この総合計画は、将来像を掲げ、合言葉のもと様々な施策を推進しています。

将来像：夢と希望があふれるまち　朝日町

合言葉：こんにちは、たのしい未来！

第６次朝日町総合計画は、３つの基本テーマと８つの基本目標に沿って各種政策を展開しています。

≪基本テーマ≫

◆子育て応援日本一のまち

◆幸せ寿命日本一のまち

◆移住・定住・交流で賑わうまち

≪基本目標≫

・子育て・教育　安心して産み育て、健やかな心とからだを育み、学び続ける未来
・健康・福祉　健康寿命を延ばし、いきいきと暮らせる未来
・産業・観光　多彩な資源を活力にした魅力あふれる未来
・定住　愛され、選ばれ、人々が集う未来
・安全・安心　生命と財産を守り、安心して暮らせる未来
・環境　次世代へつなぐ、資源循環型の未来
・生活基盤　魅力的な都市をつくり、快適に暮らせる未来
・行財政改革　新たな地域スタイルを構築し、みんなが助け合う未来

第３期朝日町総合戦略

令和８年度　～　令和１２年度

朝日町では、「人口減少対策」に取り組むとともに、人口減少が続いても安心して暮らすことができる持続可能な町を目指し、令和８年度から「第３期朝日町総合戦略」がスタートしました。

この総合戦略は、第６次総合計画の重点プロジェクトとして位置付けられています。

第３期朝日町総合戦略は、６つの基本的視点のもと４つの基本目標に沿って各種政策を展開しています。

≪基本的視点≫

◆安心して働き、暮らせる朝日町を創る

◆若者や女性にも選ばれる朝日町を創る

◆関係人口の創出・拡大によりまちの活力の維持・向上を図る

◆朝日町の稼ぐ力を高める

◆AI・デジタル等の新技術を積極的に活用する

◆国・県・近隣自治体等との様々な結びつきにより共生関係を強化する

≪基本目標≫

- 子育てしやすいまち
  - ■結婚・出産・子育て支援の充実
  - ■学校教育の充実
- 魅力あふれるまち
  - ■商工業の振興
  - ■農林水産業の振興
  - ■観光の振興
  - ■関係人口の創出・拡大
  - ■稼ぐ力の向上
- いきいきと暮らせるまち
  - ■保健・医療の充実
  - ■地域福祉の充実
  - ■スポーツの振興
- 住みやすいまち
  - ■移住・定住の促進
  - ■消防・救急・防災力の強化
  - ■快適な生活基盤の整備
  - ■循環型社会の推進
  - ■広報・広聴の充実
  - ■デジタルの活用

子育て支援

「こどもまんなか社会」の実現を目指し、家庭・地域・企業・行政が一体となって
こどもを見守り育み、子育てを支えあう環境づくりを進めます。

絵本スマイル事業

絵本が子どもの成長に与える影響、その大切さについて理解を深めてもらうため、絵本専門士が絵本の良さを説明し、読み聞かせ、絵本のプレゼントを行います。

・対象　１歳６か月児、３歳児

子育てステージアップ応援事業

１step：誕生祝金

次代を担う子どもの誕生を祝福し、その健全な育成を願い誕生祝金を支給、木製品（椅子か積み木）を贈呈します。

・第１子・第２子　　５万円
・第３子・第４子　１０万円
・第５子～　　２０万円





２step：小中学生ステップアップ応援事業

小学校、中学校進学時に、LoCoPiあさひまちコイン又はあさひ商品券を保護者に支給します。

・支給額　小学１年生20,000円、中学1年生30,000円

３step：高校生世代新生活エール事業

新生活に伴い、教科書や制服、タブレット端末など出費が嵩むことを鑑み、高校生世代に対する支援を行います。

・対 象 者　高校生１年生世代
・支 給 額　対象者１人につき、５０，０００円
・支給方法　LoCoPiあさひまちコイン又はあさひ商品券
※支給対象者は高校生等本人に限る

子育てDX

●あさひＤＥ子育てアプリ

予防接種、成長記録、町の育児情報も。
妊娠から出産・育児までをフルサポートする母子手帳アプリ

●保育所、放課後児童クラブ（コドモン）、病児保育室（あずかるこちゃん）の利用アプリの導入

欠席、遅刻、早退や利用申込み等の連絡がスマホひとつで簡単にできます。また、リアルタイムでお知らせを受け取れます。

おうちで子育て応援金

家族の絆の深まりやふれあいを通じて家族愛を育むとともに、育児の経験や知恵を活かした子育てを応援するため、家庭で育児をする世帯に対し、応援金を支給します。



・支給要件　●対象児童が保育所に入所していない。
●対象児童、保護者、育児者が町内に住所を有している
●家庭での育児を４か月以上継続する。
（育児日数が１５日未満の月はひと月とみなさない）
●保護者が育児休業給付（手当）を受給していない

・支給額　生後６か月経過から２歳誕生月まで　６０，０００円／月
２歳誕生月の翌月から３歳誕生月まで３０，０００円／月

子育て支援

「こどもまんなか社会」の実現を目指し、家庭・地域・企業・行政が一体となってこどもを見守り育み、子育てを支えあう環境づくりを進めます。

保育料の軽減・主食提供等

● 保育料の軽減

多子世帯の経済的負担を軽減するため、同一世帯における第２子以降の保育料を軽減します。

※令和元年10月から国の制度により、3歳児から5歳児の保育料が無償化されました。

・第２子　　半額
・第３子以降　　無料

● 入所児童主食提供・給食費（副食費）無償（３歳児～５歳児）

保育所入所児童の主食を提供しています。
３歳児から５歳児の副食費（おかず代、おやつ代）は無償提供

病児・病後児保育

発熱や病気などでお困りの時に、保護者に代わって保育と看護を行います。

・利用定員　４～６名（預り児童の症状等によります）
・利用時間　◆通常：　８時３０分～１７時３０分
　◆延長：　７時３０分～　８時３０分
　１７時３０分～１８時３０分
・利用料金　◆通常　：２５０円／時間
　◆延長　：３００円／時間
　◇食事料：３００円

子ども医療費助成

誕生から高校生世代まで、入院・通院に係る保険診療の自己負担分を助成します。

・助成対象医療費　通院・入院に係る保険診療の自己負担分
　※食事療養費や保険診療外の医療費は対象外
・助成方法　◇県内の医療機関：窓口負担が無料（現物給付）
　◇県外の医療機関：医療機関等で一旦自己負担分を支払い、その後町へ請求。（償還払い）

※高校に在学していなくても、保護者に扶養されている場合は対象です。
※進学のため、住所を朝日町外に異動されていても、町内の保護者に扶養されている場合は対象です。

このほかにも

- **不妊治療費助成**
- **マタニティパスサポート事業**
- **産前・産後ヘルパーの派遣**
- **保育所の早朝保育、延長保育が無料**
- **６か月児以降の０歳児保育の実施**
- **休日保育の実施（※有料）**

などの事業に取組んでいます。

教　育

知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成のほか、教育環境や教育支援の充実に努めています。

教育支援の充実

●体操服の購入支援
次年度小学校に入学する新一年生の保護者を対象に、体操服各１着（長袖上着、トレーニングパンツ、半袖シャツ、ハーフパンツ）の購入を支援。

●小・中学校給食費全額補助（無償化）
町内の小・中学校に通う児童生徒の給食費を全額補助。

●小中学校へのエアコンの設置
児童生徒の学習環境の向上のため、すべての小・中学校の教室などにエアコンが完備されています。

●スクールバスでの登下校
通学距離や積雪などにより通学に支障のある町内の児童生徒を対象に、スクールバスでの登下校を実施しています。

●放課後児童クラブ
授業が終了した放課後及び土曜日、長期休業日（春・夏・冬休み）に保護者の方が仕事等により昼間家庭にいない町内小学校に就学している児童を対象に、家庭に変わる生活の場を提供し、保護者の子育てと仕事の両立を支援します。

・開設場所　あさひ野っ子放課後児童クラブ：あさひ野小学校
　　さみっ子放課後児童クラブ　　：朝日町児童館

教育環境の充実

●タブレット型端末及び無線ＬＡＮの整備
すべての小・中学校において、パーソナルコンピューターのほか、無線ＬＡＮを活用したタブレット端末、デジタル教科書を利用しての授業を実施しています。

●学習者用デジタル教科書の導入
小学５年生３教科（国算英）、小学６年生４教科（国数英社）
中学１年生～３年生（国数英理社）でデジタル教科書を導入

●ＡＩ学習ドリルの導入
令和４年度から小学１年生から中学３年生の全学年に、ＡＩ学習ドリルを導入しました。

●スタディメイト・英語指導員の配置
学習活動上の支援を充実させるため、すべての小・中学校に特別教育支援員（スタディメイト）を配置しています。また小学校における英語教育の実施に対応し、すべての小学校に英語指導員を配置しています。

●朝日町型部活動コミュニティクラブ
令和３年度から「中学校の部活動」の一部を地域人材の協力による「地域クラブ活動」として行っています。

●保小中一貫教育の推進
保育所と小学校、小学校と中学校の接続にジョイント機関を設け、保・小・中を通して12年間の切れ目のない学びを推進しています。

商 工 業

地域の経済をけん引する工業分野の活性化と地域に根差した商業・サービス業の活性化を推進し、地域の活力を支える商工業の振興を図ります。

企業誘致

これまで以下の企業誘致に成功しています。

- **株式会社アムノス**
  富山大学が開発した特殊な技術で羊膜を乾燥させた「ハイパードライ羊膜」の製造
- **PBS株式会社**
  水耕栽培関連事業を展開
- **株式会社Ｄ－Ｆａｃｔｏｒｙ**
  省力化生産機械の設計・製造事業
- **ウニノミクス株式会社**
  磯焼けの原因となるウニを回収し独自の畜養技術によって商品化





さらなる企業誘致へ

朝日町では新たな企業用地を整備し、今後も企業誘致を進めます。

雇用創出

●雇用創出奨励金

居住地を問わず正規職員を雇用した事業者及び雇用された就業者に対して奨励金を交付します。（令和6年度より制度改正）

・対象要件

①朝日町内の事業所に雇用された就業者　…10万円
②①の方が29歳以下である場合　…20万円
③①の方が雇用前6か月以内に転入している場合…60万円
④③の方が29歳以下である場合　…80万円

●職業能力開発技能訓練奨励金

職業能力開発技能訓練の受講の負担軽減を図り、就職を支援するために、対象者に補助金を交付します。

・対象要件

65歳未満で公立の職業能力開発技能訓練に入所し、所定の技能訓練の過程を修了した方

・奨励金額

◇技能訓練課程期間が3か月以上…2万円
◇技能訓練課程期間が3か月未満…1万円

観　光

自然や歴史文化、食材等の地域資源の整理・発掘を進め、観光ニーズに即した資源の魅力向上と国内外に向けた情報発信の強化、広域連携による観光事業の推進を図ります。

２大景勝地

●ヒスイ海岸

日本の国石「ヒスイ」を含んだ石が打ちあがる通称
「ヒスイ海岸」
太古からの贈り物を探しに一年を通して多くに人が訪れます
ヒスイおじさん（ガイド）も人気！



●あさひ舟川　春の四重奏

北アルプスの残雪、桜並木、チューリップ、菜の花の
奇跡の共演！



観　光

自然や歴史文化、食材等の地域資源の整理・発掘を進め、観光ニーズに即した資源の魅力向上と国内外に向けた情報発信の強化、広域連携による観光事業の推進を図ります。

朝日町文化体育センター（サンリーナ）

軽スポーツから競技スポーツまで幅広くスポーツを楽しめます。また文化講演会、コンサート、各種展覧会など芸術・文化とスポーツを多目的に利用できる施設です。

・利用案内
開館時間：平日　　午前９時～午後９時３０分
　　日曜日　午前９時～午後５時
休 館 日：毎週火曜日、国民の休日
　　12月29日～翌年の1月3日まで



朝日町立ふるさと美術館

令和５年７月に移転オープン。
著名な芸術家による特別展や朝日町にゆかりのある作家の企画展のほか、常設展や個展など、一年を通していつでも美術鑑賞が楽しめます。
またミュージアムショップや喫茶室もあります。

・利用案内
開館時間：午前９時３０分～午後４時４０分
　　（入館は午後４時まで）
休 館 日：火曜日（火曜日が祝日の場合は翌日が休館日）
　　展示替期間、年末年始



関係人口の創出･拡大

ふるさと納税の拡充をはじめ、朝日町と多様な形で関わる関係人口の創出を図り、まちづくりの活性化につながる取組を進めます。

“まめなけ朝日”ふるさと寄附金

「ふるさと納税」制度は、生まれ故郷や応援したい“まち”へ寄附をすると、お住いの市町村の住民税などが軽減される制度

朝日町では、頂いた寄附を次の事業に活用しています。

① あさひ総合病院の運営への支援
② 「あさひ舟川 春の四重奏」「ヒスイ海岸」など観光事業への支援
③ ふるさとに思いを馳せて…おじいちゃん・おばあちゃん応援プロジェクト
④ 「子育て応援日本一」のまちへの支援
⑤ デジタルを活用した住みよい共助のまちづくりへの支援
⑥ 移住・定住、起業・就業への支援

またふるさと納税をされた方にご希望のお礼の品をお渡ししています。



人気商品☆朝日町産とやま和牛焼肉用


人気商品☆朝日町産コシヒカリ


北アルプスの山々や日本海の雄大な自然に育まれた日本酒。約400年の歴史を持つ富山県最古の酒蔵の逸品。

合宿・教育旅行等の推進

コンベンション推進事業として、合宿や教育旅行等のために朝日町内の宿泊料金の支払いを要する施設に宿泊した際や、会場として施設を利用した場合に、その経費の一部を助成します。

◇合宿、学会、大会・会議、スポーツ大会、教育旅行

対象（合宿）・大学等の団体が町内の宿泊施設に宿泊して、スポーツ活動や文化活動等を行うもの
（学会）・学術研究団体が主体となって、構成員を対象として開催する発表及び討論のための集会
（大会･会議）・団体、組織の構成員等が特定の課題に対して意見発表及び討論をするための集会
（スポーツ大会）・団体及び組織がスポーツの振興や競技力の向上を図るために開催する大会
（教育旅行）・小学校、中学校及び高等学校の学校教育の一環として、教職員の引率により行われる体験又は研修の旅行

条件
・宿泊料金の支払いが必要な朝日町内の宿泊施設で**１泊以上**すること（町の公共施設及びケビン、キャンプ場等の簡易施設は除く）
・参加者の延べ宿泊数（参加者人数×宿泊数）が**１０人泊以上**であること

助成額
（教育旅行）　２，０００円／人泊（上限５００，０００円）
（ その他 ）　１，０００円／人泊（上限３００，０００円）

農林水産業

農林水産業における経営体の強化、担い手の育成、地消地産（地産地消）の推進などにより、活力ある農林水産業・農山漁村の振興を図ります。

①農業

農業研修生から農業後継者に。

朝日町新規就農者等研修宿泊施設（通称**「あさひ農学舎」**）を拠点とした農業研修生の確保・育成による新規就農を促進しています。

①町外（県内外）から
②朝日町に移住し（Uターン、Iターン大歓迎）
③朝日町の農業を勉強し、あるいは**皆さんの経験を活かし**
④朝日町の農業の後継者となっていただける（定住就農）方を募集

研修期間：最大３年間　→　定住就農へ！
研修内容：農業技術研修　・**農家での実践研修**＋座学（１回/週）
・農業に関する各種研修会へ参加
・資格取得の支援、イベントへの出店
・研修終了後の目標に向けた活動

朝日町暮らし研修・地元集落に溶けこんだ農村生活
※町内会活動にも参加

研修後（実績）：事業承継、研修先での就農、起業、町内企業就職（６次化）

通称**「あさひ農学舎」**



【宿泊棟】 個室８室＋共有エリア
（くつろぎスペース、キッチン、洗濯機）
【研修棟】 研修室　加工研修室
【倉　庫】 2棟
【実証田】 ビニールハウス1棟

健康･医療

町民の誰もが健康でいきいきとした人生を送れるよう、疾病の早期発見と生活習慣の改善による健康増進・疾病予防の取組を推進します。医療と保健・福祉との連携強化を図り、切れ目のない医療・介護を受けれる環境づくりを進めます。

あさひ総合病院



高齢化が急速に進展する将来の医療需要を見据えた地域医療構想に基づき、あさひ総合病院における病棟再編を含めた今後のあり方やその活用方法を協議するため、「あさひ総合病院病棟再編等検討委員会」を設置。

病棟再編等に関する方向性が以下のとおり示され、平成29･30年度に病院改修･整備を進めました。

病棟再編等に関する方向性

●病棟の再編については、朝日町の今後を見据えて　**「高齢者医療の先進モデル」となる病院**　に再生する。

●今後の看護師数を予測した場合、3病棟の維持は困難であり、　**病棟を2病棟に集約した病棟運営**　とする。

●3階については、　**医療職員確保のため現状で不足している会議室や研修室、図書室、職員休憩室**　などに改修する。

また、6階については、既存のリハビリ施設を活用し、　**新たに在宅医療と認知症や骨粗鬆症に対する施設**　を設ける。

健康･医療 ― あさひ総合病院 ―

「急性期から在宅まで」

地域医療を支える中核病院として「高齢者医療先進モデル病院」を目指します。

改修前	
3階 病棟	一般病棟 48床
4階 病棟	一般病棟 54床 （うち結核病床 5床）
5階 病棟	一般病棟 49床 ※休床中
6階 病棟	回復期リハビリ病棟 48床
合計 病床数	199床

改修後（平成31年4月～）	
3階	会議室、実習室、更衣室、図書室、 職員食堂、休憩室、仮眠室、倉庫等
4階 病棟	一般病棟 56床
5階 病棟	地域包括ケア病棟 53床
6階	・在宅介護支援センター ・認知症院内デイサービス（ひだまり） ・認知症カフェ（いきいきカフェ） ・ロコモセンター ・訪問リハビリテーション ・通所リハビリテーション ・地域医療推進室 ・地域医療連携室
合計 病床数	109床
その他	1階 外来点滴室（化学療法室） 2階 診療情報管理室 扇状地ネット参加

健康･医療 ― あさひ総合病院 ―

寄附講座の開設（令和元年度～令和９年度）

◇あさひ総合病院で不足する診療分野の診療を富山大学附属病院の医師が担うことにより、地域医療の充実に貢献します。
◇地域医療を通して、将来に向けた地域包括ケアを担う医療人材を育成します。
◇富山大学附属病院とあさひ総合病院の間で、病院機能の分化を踏まえた患者の紹介・逆紹介の円滑化を図ります。

富山大学附属病院とあさひ総合病院

富山大学附属病院



寄附講座の開設

朝日町（あさひ総合病院）



朝日・地域医療支援学講座
（朝日町寄附講座）

- ●医師の派遣
  - 寄附講座教員
    - 第一内科　客員助教
    - 総合診療科 客員助教
- ●学生・研修医の派遣

富山大学附属病院
地域医療支援サテライトセンター
（あさひ総合病院内）

- ●不足している分野の診療
- ●地域包括ケアを担う人材育成
- ●患者紹介の円滑化

福　祉

高齢者や障害のある人が、住み慣れた地域で、医療や介護が必要になっても自分らしく生きがいを持って暮らしていけるよう、様々な支援サービスの充実を図ります。

●介護予防事業

健康でいきいきとした生活が送れるよう、住民主体の通いの場を充実させ、介護予防の推進を図っています。




●フレイル予防事業

「あさひフレイルサポーターの会」が主体となり、町内会やサロンなどを訪問し、フレイルチェックを実施しています。





●障害福祉の推進

障害のある人が、地域で安心して暮らせるよう、切れ目のない支援体制の充実と社会参加の促進を図っています。




●ケアネット事業

地域での多様な実施主体の参加による地域住民主体の支え合い助け合い活動。




保　健

乳幼児期から高齢期の幅広い世代に対し、健康で安心して過ごせるように各種健診や教室、相談事業を行っております。健康に対する意識向上と自主的な健康づくり活動への支援を行い、一次予防の取組を推進します。

●健康教室、健康相談

生活習慣を見直し、改善のための方法を一緒に考えます。また、教室では保健師、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士など多職種で連携しています。

ベジチェック・栄養指導



むし歯予防教室



高血圧改善教室



高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業





●食育事業

「朝日町食生活改善推進員」が中心となり、親子や学生、男性などを対象に教室を開催し、多くの町民に参加いただいています。









スポーツ

健康スポーツの推進

心身の健康の維持増進に向けて、誰もが気軽に楽しむことができる健康スポーツの推進を図っています。





にこにこスポーツ広場



いきいき
スポーツサロン





まめなけ！あさひスポーツデー



ひすいスポーツクラブ



生涯の健康に繋がる子どもの体力向上への取組も行っています。

移住･定住

空き家・空き地バンク

◎町公式HPで「空き家情報バンク」を掲載しています。
令和７年度（令和８年２月末現在）：　マッチング実績２３件（賃貸１０件、売買１３件）

【朝日町ホームページ】



ホームページのこちらをクリック
物件の写真や詳細情報を見ることができます。







物件の外観、内部の様子等も
詳しく掲載しています。
掲載物件数もたっぷり！

移住･定住

― 定住サポート事業 ―　朝日町住宅取得促進事業

宅地取得への補助

５年以内に購入した土地に家屋を建設した場合及び中古住宅、建売住宅と底地を同時に取得した場合に補助金を交付します。

◇土地取得費の１０％に相当する額（上限５０万円）

※取得した土地が中道下分譲地・泊駅南分譲地の場合、さらに７５万円（定額）を加算

住宅取得への補助

新築・建替え・増築（建築確認申請が伴うものに限る）の工事費、中古住宅又は建売住宅の購入費、中古住宅のリフォーム費への補助金として、住宅取得費の１０％に相当する額又は次に当てはまる世帯の上限額を比較し、いずれか低い額を交付します。

≪入居者の世帯区分≫	≪上限額≫
◇一般世帯（単身世帯及び転入・近居・同居世帯以外の世帯）	：２０万円
◇転入世帯（転入後３年以内の者が含まれる二人以上の世帯）	：１２０万円
◇近居世帯（町内に２親等以内の直系親族が居住し、子(孫)世代が単身ではない世帯）	：７０万円
◇同居世帯（１つの家屋に２親等以内の直系親族が居住し、子(孫)世代が単身ではない世帯）	：１２０万円

※リフォームの場合、工事の契約先は朝日町内の業者に限ります。

☆住宅取得費が200万円以上で、次に該当する場合、さらに補助金が加算されます。(上限額100万円)

◎若年者加算（住宅取得者又はその配偶者が１８歳以上４０歳未満）　：２５万円

◎子育て加算（１８歳未満の子（高校３年生世代）を養育している世帯）　：２５万円／人

◎新婚加算（婚姻の届出日から請負（売買）契約日までの期間が５年以内の夫婦：５０万円

移住･定住

― 定住サポート事業 ―　朝日町住宅取得促進事業

朝日町賃貸住宅家賃補助金

転入世帯、新婚世帯に対し、家賃の一部を最大３６ヶ月補助します。

対象者　**転入世帯**（転入日から入居日までの期間が１年以内で、転入前の住所が１年以上町外にある方が含まれる世帯）
新婚世帯（婚姻の届出日と入居日の期間が１年以内の世帯）であって、次の要件を全て満たす方

補助要件
◇3年以上朝日町に居住をする意思がある
◇申請時に賃貸住宅に住居があり、現に居住している
◇転入世帯の場合は、世帯員が過去に家賃補助奨励金の交付を受けていない
◇公共事業の施行に伴う補償等により賃貸住宅に入居したものではない
◇町税に滞納がない
◇世帯全員が暴力団員等でない
◇単身世帯ではない



対象となる住宅・補助金の額

空き家バンク登録住宅

◎空き家情報バンクを利用して、空き家に入居される方

=補助金の額・交付期間=

◎補助金　：家賃の２分の１の額（上限20,000円）
◎交付期間：交付申請のあった月の翌月から退去した月の前月（最大36ヶ月）

賃貸共同住宅

◎町に転入し、賃貸アパート等に入居される方

=補助金の額・交付期間=

◎補助金　：家賃の２分の１の額（上限10,000円）
◎交付期間：交付申請のあった月の翌月から退去した月の前月（最大36ヶ月）

再生可能エネルギー脱炭素社会

公共施設等への太陽光発電設備導入


▲太陽光発電設備（役場庁舎）
２０２１年導入


▲太陽光発電設備（サンリーナ）
２０２１年導入

災害時の防災拠点である2つの施設に「温室効果ガスの排出抑制」「災害時にエネルギー供給等が可能」となる太陽光発電設備を導入
平時に加え、災害時の発電・電力供給等を可能とし、防災拠点としての機能や事業継続性の向上を図りました。
引き続き、町有地をはじめとした公共施設等への太陽光発電設備の導入に向けて取組を進めてまいります。

ゼロカーボンシティ宣言　2022.6

2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることを目指し、カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現に向け、行政と町民、事業者が一体となって、取り組んでいく決意を示しました。

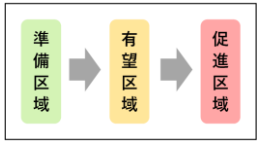


洋上風力発電に向けた動き　2022.9～

国では、海洋再エネ整備法により、洋上風力発電の開発事業者を選定するにあたり、日本の領海及び内水のうち、一定の区域について、年度ごとに促進区域、有望区域、準備区域として整理・指定しています。

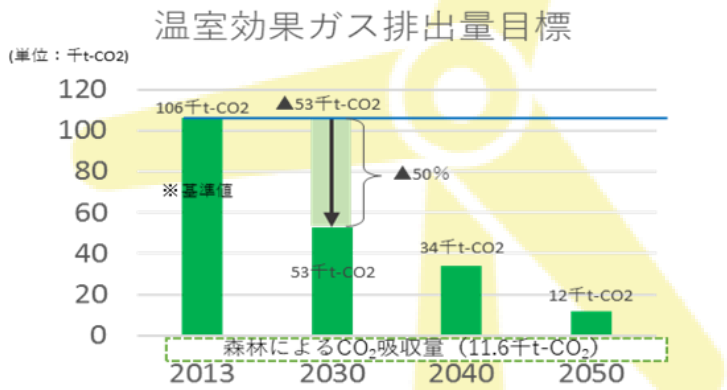
朝日町・入善町沖を含む「富山県東部沖」は、令和４年９月に準備区域として整理されています。今後は有望区域、促進区域への整理・指定に向けて国への情報提供等の取組を進めていきます。





脱炭素社会実現へ向けた計画策定　2023.3～

再生可能エネルギー推進計画と
地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定



長期目標　2050年度までに**温室効果ガス排出量実質ゼロ**

排出削減目標 2030年度までに**▲50%** 削減（2013年度比）

再生可能エネルギー脱炭素社会

ちょいチャージは、再生可能エネルギーでEV（電気自動車）を充電できるサービス。
みんなで少しずつエネルギーを分け合い、エネルギーの地産地消を進めていくことを目的としています。

- **朝日町役場正面駐車場に普通充電器を設置**
- **無料で充電が可能**
- **利用するには「ちょいチャージLINE」での利用予約が必要**

（利用方法は町ホームページをご確認ください）



ちょいチャージLINE友だち
登録はこちら

LINEで予約

・LINEで充電予約ができるため、来庁の際についでに充電するなど、気軽に利用可能です。

・利用方法は町ホームページでご確認いただけます。

町ホームページ



いろいろなコンテンツを提供

・LINEアプリでは、EV充電予約・充電記録や、朝日町のカーボンニュートラルに関する取組も紹介しています。

・その他コンテンツもご用意しています。



都市計画･道路･交通

目的別に使い分けたり、上手に組み合わせたり。地域公共交通をかしこく使って、ときめく毎日を。


あさひまちエクスプレス


黒東タクシー


あさひまちバス


ノッカルあさひまち


あいの風とやま鉄道

①あさひまちバス



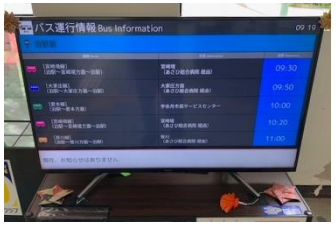
小型バス1台、ハイエース2台

町内全地区を網羅するコミュニティバス

＜運行概要＞　※200円／回
- **９路線**、一日36便を3台で運行
- **平日のみ**、入善･黒部･糸魚川にも乗入
- **自由乗降制**を採用し、路線上の安全な場所であればどこでも乗り降り可能
- 鉄道のダイヤ改正に合わせて毎年見直し







②ノッカルあさひまち


住民マイカー＋専用車両

住民の共助が支える新しい公共交通

＜サービス概要＞　※600円／回（相乗400円）
- **事業者協力型**自家用有償旅客運送の全国第１号として、令和3年10月より始動
- ドライバーは**住民**、車両は**住民のマイカー**
- 各地区と中心部を結ぶコースごとに、**ドライバーの外出予定に合わせた時刻**を設定
- **前日17時までの事前予約制**でタクシーと棲み分け、土日を含め毎日運行可能





③あさひまちエクスプレス

北陸新幹線駅と朝日町を結ぶ直通バス



＜運行概要＞
- 新幹線**全便に接続**
- 春の四重奏開催中は臨時便も運行
- ビジネス利用も多数

④黒東タクシー

自由度はNo.1、町内唯一の交通事業者



＜運行概要＞
- 初乗り620円
- 夏季には朝日岳登山タクシーとしても活躍

※当該事業者がバス運行も受託

⑤あいの風とやま鉄道

富山県民の生活路線



＜運行概要＞
- 町内には『泊駅』、『越中宮崎駅』の２駅
- 富山駅までは約50分
- 第三セクター方式

都市計画･道路･交通

憩い、健康づくり、交流促進、防災などの多様化する利用者ニーズに対応した公園緑地の整備を進めます。





あさひ未来パーク

令和８年5月部分開園

さまざまな年代のこどもが楽しめるよう、多様な遊具を設置します。

また、遊具のほか、芝生広場や水景施設、せせらぎ水路など、こどもに限らず幅広い年代の方が利用していただけます。

泊駅南土地区画整理事業

泊駅南側から国道８号間において、宅地分譲や道路、あさひ未来パークの整備など良好な居住環境の形成に向け、新たなまちづくりが進められています。



デジタル活用　●朝日町公式LINE

概　要

・町関連のイベント、お知らせ、緊急情報等のセグメント配信

町関連のイベントやお知らせ、災害等における緊急情報を適宜配信します。事前に受信設定することで、希望する行政ジャンルの配信だけを受け取ることができます。

8:30

・住民票等の請求手続がオンラインで可能

従来、役場窓口で行う申請手続の一部が、公式LINE上でも行えます。また、町が実施する検診や子育て支援関連の各種教室等についてもオンラインで予約することが可能です。（申請できる手続は順次拡大していきます。）

17:15

友だち登録
はこちら

★ 朝日町公式LINE　３つのメニュー ★

行政ジャンル分けしているため、ほしい情報にすぐにたどり着くことができます

町内の方向け

基本メニュー



行政手続のオンライン申請や、子育て、防災等の暮らしに関わる情報が確認できます。

みんなのサービス



LoCoPiあさひまちをはじめとした、自助・共助を軸に町が進めるデジタル化施策が使えます。

町外の方向け

観光・移住



春の四重奏やヒスイ海岸などの観光情報や、移住定住関連の情報が確認できます。

住民と町が双方向にやりとりできるツールとして、今後もサービスを拡大していきます。

デジタル活用

ＬｏＣｏＰｉあさひまち

◇マイナンバーカードを活用した共助・共創型サービスで、地域でのデジタル活用を拡大
◇まち全体の需要データを獲得し、供給の最適化や公共コスト削減をすることで、町民のみなさんにとって「よりよい未来の朝日町」をつくる。

みんなで町をよくする公共サービスパス
LoCoPi
ロコピあさひまち
Local Community Pass & info

みんまなび

◇「学びあい、助けあい、好きが見つかる！」をテーマに自分のもつスキルや知識をお互いに教え合うマッチングプラットフォーム。教え合いを通して、地域に根付く共助文化を活性化
◇世代を超えた関わり合い・コミュニケーションを活性化し「まなび」「知恵」を出し合える場をデジタルで創る。

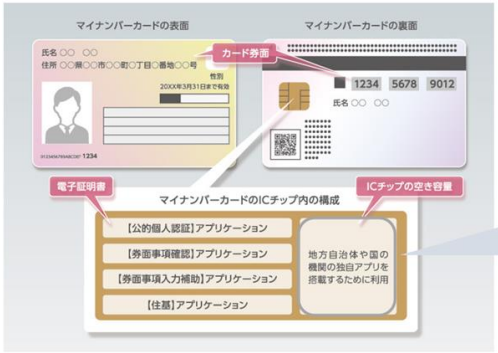
学びあい、助けあい、好きがみつかる！
みんまなび

デジタル活用

ＬｏＣｏＰｉあさひまちとは①

アナログカード×LoCoPi_ID：高齢者も子供も取り残されないDX

町民の保有率86.1%(R8.2月末現在)の
マイナンバーカードそのものを活用する



J-LIS 地方公共団体情報システム機構
Japan Agency for Local Authority Information Systems
カードアプリケーション搭載システム

ICチップの空き容量
カードアプリケーション　利用者ID
空き容量
空き容量

マイナンバーカードの空き容量に
LoCoPi_ID書き込みでサービス拡張

みんなで町をよくする公共サービスパス

LoCoPi
ロコピあさひまち
Local Community Pass & info



商店街や振興会で使われる
- ポイントサービス
- 地域通貨サービス

スマホが使えない高齢者や子供でも利用できるアナログ×デジタルの設計

デジタル活用

ＬｏＣｏＰｉあさひまちとは②

マイナンバーカードという物理カードを最大限活用する設計
カードDX／LINEによるスマホ連携で実現







- ポイント/決済サービス
- サービス実績(健康教室等イベント参加、公共交通利用等)
- カスタマイズ柔軟性
- 運用費の低価格化　など

- ポイント確認
- インセンティブ獲得
- デジタルコンテンツ
- LINEでの情報発信　など、独自サービスを付加



スマホが使えない高齢者や子供でも利用できるアナログ×デジタルの設計

マイナンバーカードの可能性を拡張させるサービス設計

デジタル活用

ＬｏＣｏＰｉあさひまちとは③

LoCoPi１つのサービスで、ポイントや見守り機能を実現
マイナンバーカードでの決済も！



デジタル活用

ＬｏＣｏＰｉあさひまちでできること①

【地域通貨(あさひまちコイン)機能】



- マイナンバーカード１枚でお買い物できる
- 飲食、食料品、生活用品など町内70店舗以上で利用可能
- 子育て等の給付金をスピーディーに支給



美容院でのカットにガソリン等の給油に　クリーニングに　お食事・飲み会等に　病院・薬局で



【防災機能】

共助で支え合う町、朝日町を目指して、
マイナンバーカード1枚で災害時の安心と便利を。

ポイント①：離れて暮らす家族に無事をお知らせ！

「見守りメール」設定で
指定避難所等でのタッチで
家族にメールをお届けします。



ポイント②：指定避難所の受付時間・作業が短縮！

通常数分かかる紙の受付票記入が
タッチ一回に簡略化されます。
円滑な避難所運営の共助になります。



ポイント③：避難所生活での安心が高まる！

食物アレルギーや要配慮情報を
事前に LoCoPi で登録をすることで
避難所での生活リスクを軽減します。



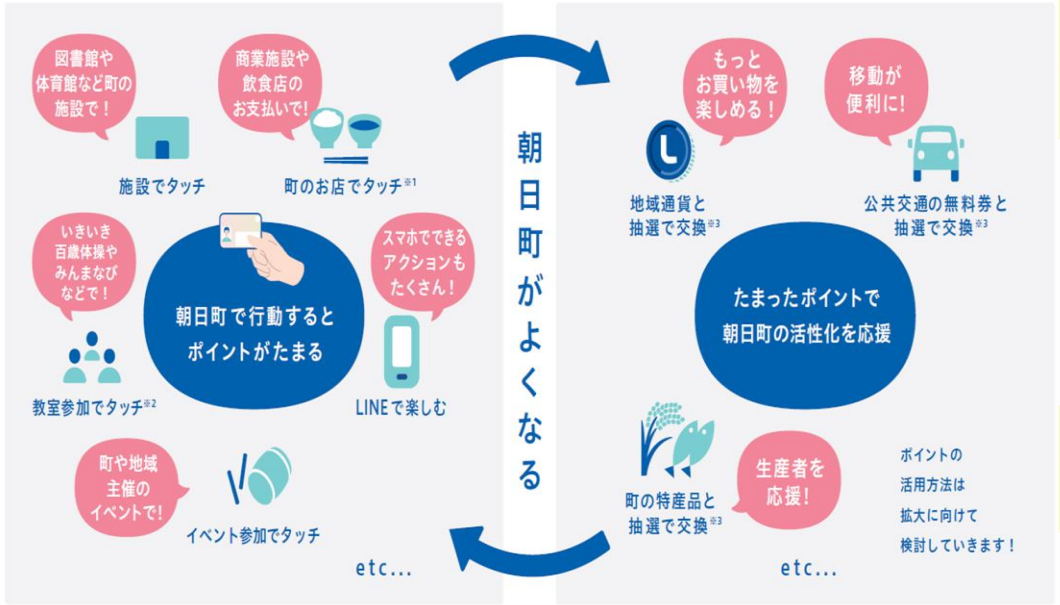
デジタル活用

ＬｏＣｏＰｉあさひまちでできること②

【ポイント機能】

公共サービスの利用や施設来館、あさひまちコイン決済でポイントが貯まる。

「LoCoPiをつかえばつかうほど、町を元気にする、町をよくすることにつながる」



【見守り機能】

LoCoPi 見守りサービスで安心を。

お子さんや離れて暮らす高齢者の見守りに。学校や施設でマイナンバーカードをタッチすると、家族にメールが届く。



デジタル活用

みんまなびでは…

地域の教育環境を、みんなで考えてみんなで学び合う



学校では学べないような学びや体験を提供し子どもの可能性を広げる地域の学びあいプラットフォーム

・地域住民や地域の企業、町に縁のある方々が**子どもの新たな興味・関心を広げる講座を開催**
・異なる学校・学年、地域の大人と交流ができる**新たな子どもの居場所に。**



「NPO等と連携したこどもの居場所づくり支援モデル事業」の活用

令和5年度「日本一こどもの声でにぎやかな美術館」

美術館だけど、こどもが自由に体験講座を楽しめる。そんな新たなこどもの「居場所」に！
・町内に点在するあらゆる「居場所」が、学校近くの美術館に集う。
・町内の事業者や町民が協力し提供するコンテンツを、この場所に集結し、実施
・移動手段がなくて居場所に行けなくても、ここが居場所になりいろんなコンテンツを楽しめ、地域の人とも関わることができる。

令和6年度「町内と町外のこどもが一緒に学び合い、多様な体験や価値観に出会う持続可能なこどもの居場所の実現」

海・山・川のすべての自然を通じて、「地元の子どもたち」と「都会の子どもたち」が学び合う体験学習プログラム「みんまなびsummer camp」「みんまなびwinter camp」
・「学び」をキーワードに、ただ自然を体験するだけでなく、自然や交流の中から学ぶことで「生きる喜びを感じる」感性を身に付けられるプログラムを構築
・朝日町の自然や文化コンテンツを通して、域内外のこどもの交流、関係人口を創出